

市立御前崎総合病院のスタッフを紹介します



病院から こんにちは



療養型病棟 **山本 美砂子** 主任看護師

究極のケアを目指す

療養型病棟に配属された当初、その窓の大きさと開放感に驚いた事を覚えています。窓からは外の景色がとてもよく見え、病院とは違った「癒し」を感じました。大きな窓から見える朝夕のまちの変化、春夏秋冬の景色の移り変わりが、療養されている患者やご家族を癒し励ましているのではないのでしょうか。

私自身も、海を行き交う船やお不動山へお参りする人影、夕日に染まっていく街並み、病院の屋上花壇に咲き誇る花を眺めながら、つかの間心を奪われてしまいます。そして、そんな景色の一つ一つが私を癒し「よし頑張るぞ!」という気持ちの原動力にもなっています。とりわけ好きなのは、冬の朝に空が白々明けてゆく風景です。街並みが朝もやに煙っている様子は幻想的で、つい見とれてしまうほどです。

私たち療養型スタッフの目標は、そんな景色に勝らずとも劣らない「ケア・看護」の提供です。療養型病棟における「癒し」という究極のケアを目指し、これからも「心・技・体」を学び実践していきたいと思えます。



出身地は？

御前崎市

趣味は？

読書 雑学を増やすこと

市の印象は？

気持ち良い風

座右の銘は？

一步一步

わたしたちと原子力

5号機の耐震安全性に問題なし

浜岡原子力発電所5号機の耐震安全性について、本市をはじめ、牧之原市、掛川市、菊川市の市民を対象とした市民説明会が1月15日、新野公民館で開催されました。

平成21年8月から停止していた5号機の説明会とあつて、会場には4市から約260人が詰め掛けました。第一部は、中部電力が国に報告した、駿河湾の地震を踏まえた5号機の耐震安全性への影響などが説明されました。第二部では国の原子力安全・保安院から、中部電力の報告内容に対する審議状況が説明され、「駿河湾の地震を踏まえた5号機の耐震安全性への影響について、安全上支障がない」との見解を述べました。

その後開催された「浜岡原子力発電所安全等対策協

議会」では、会長の石原市長が意見を取りまとめ、4市対協では運転再開について差し支えなしという結論に至りました。

また、同協議会は1月20日、中部電力に対して、耐震安全性に関する継続的な地元への理解活動の実施や慎重な運転再開、ヒューマンエラーの排除などを要請しました。

